

■平成27年度執行目標 教育部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	背景・課題・留意点等	項目 (単位)	根拠計画 等	前年度 実績 (見込) 値	本年度 目標値
教育部	学校教育課	1	ICT機器を活用した情報教育の充実	平成26年度から整備中のICT機器を活用した、わかりやすい授業の実現を目指し、デジタル教科書をはじめとしたデジタル教材の配信や、ICT支援員を活用した授業を進めます。さらに、校内研修や情報教育研究会での研修を進め、教員相互の情報交換により授業の充実を図り、子どもたちの学力向上を目指します。	子どもたちが、興味・関心をもつ授業を展開し、学力向上を目指します。				
教育部	学校教育課	2	学校における読書活動の推進	平成22年3月に策定した「木津川市子どもの読書活動推進計画」を現在の情勢にあわせ、改訂する。あわせて読書活動を推進するため現在未整備となっている加茂・山城地域の小中学校の図書館図書データをデータ化し、図書管理システムを導入する。	「木津川市子どもの読書活動推進計画」の改定にあたっては、小中学校だけでなく市立図書館や幼稚園、保育園等とも連携を図る必要がある。図書管理システムは、旧木津地域のみ整備が完了しているが、加茂・山城地域は学校図書のデータ化もできていないため、システムの導入だけでなく、全ての図書にバーコードラベルを貼付する等の作業も必要になる。				
教育部	学校教育課	3	学校給食センターのあり方の検討	学校給食センター施設のあり方について検討を進めるとともに、平成28年度増加食数への備品等の整備を図る。	食数の増加や施設の老朽化に伴う対策が早急に必要状況にあり、昨年度から学校給食センター施設のあり方庁内連絡会議を開催し新たな学校給食センターの建設に必要な性等の検討を行っている。				
教育部	教育施設整備室	1	恭仁小学校耐震補強改修工事の実施(1・2工区)	恭仁小学校耐震補強改修工事の実施 ◎1・2工区の年度内完了 ◎3工区の発注準備(再積算)	実績：平成26年度に4回の入札を実施したがいずれも不調であった為、再度の積算と工区分割により受注を図る 課題：落札に向け、建設市場価格の変動を把握し設計に反映する 留意点：児童の安全を最優先し、学校現場と連携を図り授業の影響を最小限とする	年度内工事出来高率(%)	木津川市立小中学校耐震化改修計画	0	100
教育部	教育施設整備室	2	棚倉小学校改築工事の実施	棚倉小学校改築工事の実施 ・改築工事の年度内完了 ・解体・整備工事の発注準備(再積算)	実績：平成26年度に3回の入札により、3月末に工事請負契約が議決される 課題：年度内の早い時期に完了し、什器・備品の納入を含め年度内完了とする 留意点：児童の安全を最優先し、学校現場との連携を図り授業の影響を最小限とする	年度内工事出来高率(%)	木津川市立小中学校耐震化改修計画	30	70
教育部	教育施設整備室	3	幼稚園・小中学校非構造部材耐震化事業	幼稚園・小中学校非構造部材調査実施設計業務の遂行	非構造部材の調査及び落下・転倒防止工事の設計積算を行う	年度内設計業務の出来高		100	100
教育部	社会教育課	1	地域で支える学校教育推進事業	次の取組により、地域ぐるみで子どもを育てる体制基盤を確立し、学校の教育活動を支援する。 ・市内全小中学校における学校からの要請に基づいた支援の実施	・平成24・25年度に、すべての中学校区で学校支援地域本部設立。 ・市内5中学校区で、学校からの要請に基づいた支援について、支援事業を実施した。 ・ボランティアの登録状況により、学校より支援要請があっても支援実施が困難な場合がある。(ボランティア登録の少ない地域がある。)				
教育部	社会教育課	2	当尾の郷会館整備事業	当尾の郷会館(社会体育・避難ゾーン、生涯学習ゾーン)と地域活動促進スペース(当尾地域在住の市民)の整備	【背景】 多様な機能を有する施設、地域活性化の拠点となる施設の活用を行うため、建築基準法や京都府福祉まちづくり条例の規定に基づく設備の整備、改修を行う。 【課題】 整備後の管理運営手法について、多方面において検討が必要				
教育部	文化財保護室	1	文化財保存活用基本計画の策定と進行	本市には、豊富な文化財が遺存し、文化財に軸足を置いたまちづくりも展開している。文化財の保存・活用は、市内外の方々から文化と歴史に関し理解を深め、魅力を知っていただくことに大きな役割を果たすと期待される。文化財業務は持続的な取組みであり、教育・観光を含む内容を有し、周辺環境も含めて総合的に捉える必要から、基本計画を策定する。また、文化財の保護・整備・調査などを進める。	【継続】 ・文化財保存活用基本計画策定に向け、文化財保護審議会を開催。基本理念や方針、推進する事業などを審議 ・史跡高麗寺跡環境整備事業：盛土・暗渠排水工事の実施。金堂跡・塔跡の実設計画完了。 ・恭仁宮跡公有化事業：2筆公有化(H26:2,813.00㎡) ・市指定文化財：「紙本著色海住山寺縁起絵巻二巻」「紙本著色橋柱寺縁起絵巻三巻」を指定。				
教育部	文化財保護室	2	文化財保護啓発事業の推進	・各種団体、小中学校などとの連携による文化財の啓発・学習事業の推進 ・市役所1階住民活動スペースを活用した展示(11月実施)	【継続】 ・木津川市ふれあい文化講座：年4回実施(H26年度参加者数：570人) ・出前事業：ふるさとの歴史文化教室(公民館講座・年4回実施、参加者数：延べ80人) ・出前授業：小学校等への歴史学習(棚倉小学校・梅美台小学校) ・歴史学習：タツタ電線(株)、木津警察署、府職員初任者研修、生きがい大学、木津川市歴史学習会				

■平成27年度執行目標 教育部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	背景・課題・留意点等	項目 (単位)	根拠計画 等	前年度 実績 (見込) 値	本年度 目標値
教育部	文化財保護室	3	市内文化財の保全・修理事業の推進	相楽神社：本殿環境整備事業（危険木の剪定・伐採） 現光寺：木造十一面観音坐像修理、収蔵庫改修事業	【継続】 国指定文化財維持管理事業：防災設備保守点検（H26市補助金：1,400千円／14社寺） 府指定・登録文化財維持管理事業（H26市補助金：136千円／6社寺）				